

(作成年月日) 2025年5月16日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 人工心肺離脱時における吸入一酸化窒素療法の効果

[研究の目的] 心臓血管外科手術の周術期における選択的肺血管拡張療法としての吸入一酸化窒素療法(iNO)の使用状況と臨床効果を後方的に検討することです。具体的には、iNOが肺高血圧、右心不全、低酸素性呼吸不全の改善にどの程度寄与するかを評価し、人工心肺離脱後の患者の血行動態パラメータや術後の人工呼吸器装着期間、NO投与期間に与える影響を明らかにすることを目的としています。この研究は、iNO療法が心臓手術後の患者の状態改善にどのように寄与するかを理解し、今後の治療方針の確立に役立てることを目指しています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2020年1月から2024年12月の期間に心臓血管外科手術の周術期において吸入一酸化窒素療法(iNO)を使用した患者さんを対象とします。

○利用する情報

吸入一酸化窒素開始前(Pre群)と開始1時間後(Post群)の血行動態パラメータ(動脈血の酸素分圧と吸入気酸素濃度の比率:PF比、平均動脈圧:MAP、連続心拍出量:CCO、中心動脈圧:CVP、平均肺動脈圧:mPAP)

術後の人工呼吸器装着期間とNO投与期間

○上記情報の利用開始予定日

香川大学医学部倫理委員会承認日

[研究組織] 香川大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学部門 臨床工学技士 久保諭

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学部門 担当臨床工学技士 久保諭

電話 087-891-2440 FAX 087-891-2440